



2月11日、砂沼広域公園を会場に下妻市スポーツ少年団による「第32回駅伝・マラソン大会」が開催され、元気な声援が響きわたる中、市内スポーツ少年団16団292人は精一杯砂沼湖畔を走り交流を深めていました。

大会は、6人でタスキをつなぐ駅伝と男女学年別のマラソンが行われ、団員たちは練習で培った体力と精神力を活かして走りきりました。

練習で培った体力と精神力を活かして
第32回下妻市スポーツ少年団駅伝・マラソン大会 2月11日



下妻市をPRする市民ランナー

災害時の相互応援協定の縁により始まった浦安市との市民交流事業で、2月2日の「第29回東京ベイ浦安シティマラソン」に下妻市民35人が招待され、10kmとハーフマラソンの部に挑戦し、参加者全員が完走。沿道の応援を受けながら走りを楽しんでいました。

10kmの部に初参加した中山広久さん(数須)は「初対面の方ともマラソンを通して会話が弾み、いろいろな情報交換ができたことがうれしかった。コース周辺道路がとてもきれいで、海を眺めながら走れ、観光とマラソンを同時に味わえました」と話してくれました。

浦安市とマラソンで市民ランナー交流
第29回東京ベイ浦安シティマラソンで市民交流 2月2日



ポークソテー作る親子

パパと一緒に梨ソースのポークソテー
男女共同参画推進事業 パパと一緒にクッキング! 2月9日

父親の家事参加促進と親子のふれあいを目的にした料理教室が千代川公民館の調理室で開催され、8組19人の親子が参加。市食生活改善推進員の指導の下、地元の食材を使った「おとう飯(お父さんが作るごはん)」に挑戦しました。

メニューは、梨ソースのポークソテー、白菜とベーコンのスープ、梨ジャムのヨーグルトゼリーの3品。限られた時間でのチャレンジでしたが、1品、2品と子どもたちと力を合わせて調理していくうちに、おいそな「おとう飯」が出来上がりました。調理終了後、参加者たちは「おとう飯」を味わいながら健闘を称えあっていました。

参加者は「すりおろした梨を使ったソースがジューシーで美味しかった。また作ってみたい」と話していました。



スープの下ごしらえをする親子



各職業の講師たちが生徒に講話

職業人の経験を通じ、将来を深く考える

職業人に学ぶ会 2月5日

2月5日、下妻中学校は1年生を対象に、さまざまな職業人の体験を通じ将来を深く考える機会にと「職業人に学ぶ会」を開催し、生徒207人が参加しました。

同会は下妻ロータリークラブ(江田治雄会長)協力のもと開催され、警察官、消防士、医師、美容師、保育士、建設業、運送業など19業種22人の講師により30分2回の講話が行われました。

参加した生徒は、希望した職業の講話を聞いた後、講師に思い思いの質問をしたり、メモを取ったりしながら、働くイメージを膨らませました。



メモを取りながら講師の話を聞く生徒たち



認知症予防について話す下田先生

認知症を予防して事故防止
真壁医師会下妻支部市民フォーラム 2月2日

多発する高齢者運転事故の原因と予防について考えることを目的に、真壁医師会下妻支部による市民フォーラムが千代川公民館で開催されました。講演は、獨協医科大学精神神経医学主任教授の下田和孝先生を講師に迎え『「高齢者と運転」～生活習慣病に関連して～』を演題に認知症予防についての講話があり、下田先生は自身の体質改善の体験談を交えながら「おかしいと思ったら早めに受診してください。体の健康を保つことが認知症の予防につながります」と話していました。

有料広告欄

有料広告欄